

ボクのワタシの 学校自慢

Vol.2
鹿浜第一小学校編(2)

開かれた学校づくり協議会主催「ダンス教室」を開催

5年ぶりに開催されたダンス教室

2/15（土）に鹿浜第一小学校体育館でダンス教室が開催されました。開かれた学校づくり協議会は、年に数回行事を企画・運営し、児童たちに体験の場を提供しています。ダンス教室もそのひとつでしたが、コロナ禍の影響もあり、5年間開催ができませんでした。

令和6年度にめでたく再開が決まり、講師と開かれた学校づくり協議会と鹿浜第一小学校では、5月頃から念入りな準備を行ってきました。

経験者も初めての子も

講師の Jyoji（ジョージ）先生は鹿浜第一小学校の卒業生で、5年前のダンス教室でも講師を務めました。

今回の教室には40人の申し込みがありました。在校生だけでなく、卒業生や保護者の参加者もいました。

ダンス経験者だけでなく、ダンス未経験の児童も複数参加しており、「この日を楽しみにしていました」とダンスに熱心に取り組んでいました。

難しいステップにも積極的に挑戦

最初は「ダウン」という、ヒップホップダンスのリズム取りの一種で体を下げる動きからスタート。はじめはゆっくりとしたカウントで、慣れるごとに早く、さらに手の動きも付けてと激しくなっていき、気づけば長袖を脱いで半袖になっている児童もいました。

難しいステップに入ると、その難しさに「無理～！」と児童たちから声が上がりましたが、みんな真剣にかつ楽しんでステップを踏んでいました。

『ボクのワタシの学校自慢』では、鹿浜地域学習センター近隣小・中学校の学校自慢をご紹介します。

今月は、2月に開催された開かれた学校づくり協議会主催「ダンス教室」の様子をご紹介します。



▲開かれた学校づくり協議会からの号令に集まる児童たち



▲先生の話を聞きながら真剣に取り組む様子



▲難しいステップに挑戦している様子

最後はお互いに発表

教室の最後は習ったステップをつなげて、曲にあわせて踊りました。

ひとつひとつのステップはできても、つながるとさらに難易度が上がり、手足をどう動かせばいいのか分からなくなっている児童もいましたが、先生のアドバイスと手本をよく見ながら夢中になって体を動かしていました。

最後はAグループ・Bグループに分かれてお互いのダンスを見せ合い、拍手を送り合って笑顔で終わりました。



▲A・Bグループに分かれてダンスを見せ合う様子

講師インタビュー

母校へ学びや恩を還元していきたい

ダンス未経験の児童も多く、学年も様々でしたが、みんな真剣に話を聞いて取り組んでくれました。ぼく自身が楽しんでいたことが伝わっていればいいと思います。今後も教室を通して、少しでもお世話になつた母校へ恩を還元していきたいと考えています。



▲講師の Jyoji さん

児童インタビュー

新しいふりを覚えられてうれしかった

有名な方が来るので会ってみたかったのとダンスが好きなので参加しました。ポップコーンというステップを初めて知れてよかったです（曾根原葵さん）。

色々なふりを覚えられて、難しいところもあったけれど楽しかったです（松浦杏実奈さん）。



▲松浦杏実奈さん（左）と曾根原葵さん（右）

足立区立鹿浜第一小学校紹介

＜スローガン＞ あたりまえのことをあたりまえにやりぬく

＜生徒像＞

- 基礎的な知識・技能を習得し、活用する力を高め、確かな学力を身に付ける。
- 他人を思いやる気持ちを大切にして、豊かな人間関係を築く。
- たくましく生きるために健康で確かな体力を養う。



▲鹿浜第一小学校外観

お知らせ

次号では令和7年に創立60周年を迎える鹿浜第一小学校の歩みや魅力についてご紹介します。